

## 成果と反響を集めた「第一回〈学生・教職員〉全学立食懇談会」

学生委員会委員長 岡本 定男

### 開催の経緯

平成十四年度当初の学生委員会にあって、私は、年度の「抱負と重点」として、大学の二大使命のうちの教育と関わり、「学生あつての教育であり、教育的使命をないがしろにした大学は、存立の意味を失うもの」という基本姿勢のもと、以下の委員長抱負を提起しました。

「本学の学生が、学び甲斐、生活し甲斐のある大学として本学に愛着と誇りを持てるように、

- ① 学生の声や要望を聞き取ること。
- ② (これと関わっての)今年度の活動に新規重点を定めること。
- ③ 課外活動を主とした分野での自

発的能動的な学生を支援し、他方、休学や不登校といった一種のリスク状況の要因を探索すること。

以上を中心とした活動の具体化を図りたい。」

こうして、本学初めての企画であり、こうした狙いをもつものとしては恐らく全国的にも珍しい試みとして開催されたのが、「第一回 学生・教職員〈全学立食懇談会〉」でした。

### 企画へのこだわり

この新企画開催に当たっては、

- ① 単なる一回限りの企画でなく、持続的恒常的な行事とするべく、開催に向けての「プレ懇談会」を積み上げること。
- ② 単なる意見表明や発表会でなく、ケーキ



「テーマ・テーブル」での和やかな語らいの輪

とお茶をテーブルに用意し、リラックスした雰囲気のもとで、本学や本学構成員への関心や愛着をはかれるような設営とすること。

③ 初発の会にふさわしいアイデアとして、「大学自慢」を核とする「テーマ・テーブル」を設定し、参加者は、自由に懇談ができるようにすること。

以上を方針とし、その具体化を図ったのです。

実際、①と関わっては、昨年七月十八日の自治会及び新聞会の学生への紹介を皮切りに、その後、大学祭実行委員会、体育会、文化系サークル、生協学生委員会の代表達との計五回、三〇名に及ぶ本懇談会への案内・呼びかけを含む「プレ懇談会」を持ちました。

### 熱気に満ちた「第二回全学立食懇談会」

二〇〇二年十一月二十七日午後、本学山田ホールにて、参加学



熱気に包まれた懇談会場

生約一四〇名、教職員二十三名の集う「全学立食懇談会」が開催されました。

学長挨拶に続き、私からの経緯と趣旨説明を行い、約一時間半、熱気と和やかさの溢れる話し合いの輪が広がりました。

この会のアイデアである「テーマ・テーブル」は、

- ①「奈教の」立地・自然」を語る
- ② 奈教人を語る
- ③ 授業・教育を語る
- ④ 課外活動を語る
- ⑤ 地域連携を語る
- ⑥ 奈教自慢
- ⑦ 奈教の今日と明日を語る
- ⑧ その他・自由テーマ

として具体化され、一方、本企画の意義や珍しさもあり、各新聞社からの積極的な取材を受けるなか、ケーキを頬張り、お茶を飲み、笑顔の内に真剣な話し合いの活気とぎわめきが会場を包みました。

以下は、参加学生達が、後に記してくれた感想の一部です。

全学立食懇談会に参加して、今まで何の接点もなかった多くの人と出会うことができた。そして、本学の話をすることができた。初めは知らなかったもの同士、少しの気まぐれも混っていたのだが、話を重ねることにそれも失せ、話に夢中になった。

奈良教育大学の先生方と話していると私達の知らない大学の魅力などを話してくださるので、大変興味深かった。本学がますます好きになった。

この会は大変興味深いもので、次回からも続けていけば奈良教育大学のよりよい発展になると感じました。